

事務事業名	《H23新規》宝珠寺管理・復旧支援事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2011- 12535					
	□ 実施計画事業		所属課室	文化財課	課長名	有泉 久					
			所属担当	文化財担当	担当者名	石川 珠美					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	01	一般	10	04	05	020	13	
施策	39	歴史・伝統文化の振興		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業						
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 ~ 25 年度)		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業							
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金								
法令根拠			南アルプス市文化財保護条例								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	・県指定天然記念物 宝珠寺のマツ主幹部腐朽調査に要する経費。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	・国重要文化財木造如来及四波羅蜜菩薩坐像5軀台座に心棒が入っておらず安定性がないため倒壊の危険性を回避するため修理を行う事業。			負担金、補助及び交付金	279						
										計	279

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	宝珠寺のマツ倒木回避のための支柱設置事業。
25年度活動実績	
26年度活動予定	25年度終了の事業なので26年度活動予定はない。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・宝珠寺のマツ ・国重要文化財 木造大日如来及四波羅蜜菩薩坐像
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財を後生へ継承して行くため。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地域の歴史や文化を継承していく心の醸成

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 宝珠寺のマツ調査回数	回
	イ 仏像修理年数	年
	ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア マツ	本
	イ 仏像	軀
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア マツが木勢を保った年数	年
	イ 仏像が安全に保たれる年数	年
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 文化財・伝統芸能の保護や継承の市民の満足度	%
	イ	

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	137	196	279				
	事業費計(A)	千円	137	196	279	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2				
	延べ業務時間	時間	100	100	100				
	人件費計(B)	千円	455	455	455	0	0	0	0
	(A)+(B)	千円	592	651	734	0	0	0	0
活動指標	ア	回	0.0	1.0	1.0				
	イ	年	2.0	2.0					
	ウ								
対象指標	ア	本	1.0	1.0	1.0				
	イ	軀	5.0	5.0					
	ウ								
成果指標	ア	年	0.0	1.0	1.0				
	イ	年	1.0	2.0					
	ウ								
上位成果指標	ア	%	38.0	38.0	38.0				
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	指定文化財の管理又は復旧は多額の費用を要し、所有者または保持者がその負担に堪えない場合が多い。宝珠寺のマツは県の指定、大日如来像は国の指定文化財になっており予てより対策を行なう必要があったため、
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	マツについては年々異常気象等で心配している。仏像についても地震等の災害を考えると深刻である
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域の象徴として古来から守り伝えられてきた指定文化財を次代へ引き継ぐためのも、早急な対策を地元住民や所有者より要望されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	マツに関しては平成22年度から県へ要求していた。仏像についても耐震等で調査を行っていた。樹木医の診断により実施している事業であるので、改善の余地はない。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	25年度は、マツは樹木医の診断による事業であるため取り組みはしない。

事務事業名	《H23新規》宝珠寺管理・復旧支援事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域の資源とはいえ地域文化振興の素材となる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 仏像、マツは宗教法人の所有ではあるが、指定文化財とした以上行政において支援しなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内に所在する国・県指定文化財を保護保存していかなければならないので妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 県指定文化財であるマツの支柱設置事業への支援であるため、向上の余地はない
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 消滅する恐れがあるため、中途での廃止はできない。(今年度で終了する事業) <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 仏像は修復が済めば終了となる。マツについても今後の方向性が決まれば調査は終了となるが、現在はマツの保護保存のため、中途では廃止できない。(今年度で終了する事業)
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 マツについては、樹木医の診断に基づく事業への支援である
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 所有者からの申請、実績報告の確認・県への進達など、書類上の最低限の事務が主であり削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 仏像、マツとも宗教法人の持ち物ではあるが、地域の象徴として地域の手で昔から守り伝えられてきた地域の共有財産であるので偏ってはいない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度のマツの支柱設置への補助は、指定文化財の保護保存のために必要な事業である。修復後の仏像は、檀家の協力により行事のさい公開することとなった。今年度は、国民文化祭の一環である山梨の名展覧に出展し、市内外に広く周知でき、マツも含め郷土にこんなに素晴らしい昔からの財産があることを誇りに思い、後世に伝えることの心の醸成が計られた良い機会であったと思われる

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 県指定文化財であるマツについては、樹木医の診断により、また重要文化財である仏像においても県、国等の学芸員による判断により、それらを保護保全するための事業であるので改善の余地はない。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 なし	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					